

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	サニーキッズ（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	令和 7 年 1 0 月 1 日		～	令和 7 年 1 0 月 1 8 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2 1 名	(回答者数)	1 5 名
○従業者評価実施期間	令和 7 年 1 0 月 1 日		～	令和 7 年 1 0 月 1 8 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 名	(回答者数)	6 名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 1 1 月 1 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用者の意思を尊重し、実態に応じた活動の提供。	・子どもの実態に応じた活動や余暇時間の環境設定を行っている。 ・利用者が過ごし方を選択できるよう、個々の実態に応じてイラストや写真を用いた意思確認を行っている。	・利用者個々の特性や目標に応じた活動や余暇時間の過ごし方ができるよう、選択肢を広げることで充実を図る。
2	・利用者が安心できる環境の提供。	・活動内容に応じてブース分けや個別での対応を行っている。プライバシーの確保やクールダウンにも活用している。 ・利用者個々の特性に応じた対応ができるよう、活動室の整備やその他のスペース（個別活動室、交流サロン、大会議室等）の有効活用を行ったり職員配置を工夫したりしている。	・子どもたちの状況に応じた、集中して取り組むことができる環境を整える。（机の配置とそれぞれに合った備品等の精査）
3	・関係機関との連携と相談体制の充実。	・各関係機関との連携を積極的に行い、電話連絡や対面での情報交換を通して支援の統一を図っている。 ・ご家族からの相談には迅速かつ柔軟に対応し、個別面談や電話連絡にて助言、提案を行っている。	・今後も季節行事等だけに関わらず、あらゆる場面で様々な年齢の人と関わる機会を設けることで、様々な経験へと繋げていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・日常的な屋外活動の提供。	・事業所の立地上、建物が道路に面しており、安全面を確保するため日常的な屋外活動を提供することが難しく課題が残る。	・活動室の環境を整え、室内でできる運動と遊具の検討・準備を行う。
2	・地域との交流や施設外活動の機会提供。	・利用者個々の実態に応じた念入りな下見や計画の立案を伴うことから、法人内の他事業所の地域イベントを優先して参加している。	・規模の大きな行事に拘らず、活動内容の工夫によって施設外活動を取り入れる方法を検討する。
3	・保護者同士の交流機会や情報発信の工夫。	・日中は仕事中の保護者の割合が多いため、行事の開催が難しく課題が残る。 ・ホームページで情報発信しているが、更新頻度に改善の余地がある。	・卒業後の進路や障害特性に関する知識など、情報発信できる機会を設ける。 ・事業所の取り組みについて、ホームページや広報誌で情報発信する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		サニーキッズ（放課後等デイサービス）				公表日		令和8年　2月　1日		
						利用児童数	21名		回収数	15名
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応	
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1			・確保されています。		当日の利用人数や活動内容、個々の実態等を踏まえて活動室を2つに分けるなどの工夫をしております。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12			3	・職員の配置数は適切だと思うが、支援する先生方も負担が重いのではないかと心配です。		国の配置基準に則った人数を配置しています。また、利用予定や活動内容を踏まえてシフトの調整を行っております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14			1	・配慮されています。		視覚提示を活用した構造化やコミュニケーションを取り入れております。エレベーターの設置もしており、必要に応じて活用しております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	1			・とても清潔です。		毎月の防災・美化点検を行い、随時清掃や修繕等を行っております。また、子どもさんの実態に応じて活動環境を2つに分ける等しております。	
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15				・親切な支援であり、とてもありがたいです。感謝しかありません。		日々のアセスメントを丁寧に行い、必要に応じて関係機関とも連携を図りながら支援を実践しております。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15				・合っていると思います。		ホームページにて公表している支援プログラムに則った支援内容を提供しております。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15				・利用者のことを考えた支援計画が策定されています。内容もとても充実しています。		子どもさんや保護者と面談を実施し、ニーズや課題を分析した上で計画に反映しております。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15			1	(二重回答1件) ・利用者の将来を考えた長期的な支援計画が策定されており、かつ、支援が実行されています。保護者として満足です。		アセスメントを実施しながら5領域に沿った支援内容を具体的に設定しております。今後も学校や併行利用先等の関係機関とも連携を図り、計画へと反映させていただきます。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15				・きめ細やかな支援が行われていると思います。		今後も計画に沿った支援を行えるようにして参ります。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14			1	(未記入1件) (二重回答1件)		子どもさんたちにも要望を聞き取りながら、固定化されないよう工夫しております。また季節の行事等も工夫を行なっております。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	4	5	4	・感染症の関係で開催が難しい。開催されても参加したいか分からない。		現在は交流の機会がありませんが、子どもさんのニーズや実態を踏まえながら今後検討をして参ります。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15				・とても丁寧な説明を受けており、理解できました。		契約時には必ず説明を行っております。また必要に応じて、都度ご説明させていただいております。ご不明な点がありましたらお声掛けください。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15						今後も丁寧な説明を心掛けてまいります。ご不明な点がありましたらお尋ねください。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	4	3	1	・今後機会ができれば、参加したいと思う。		ペアレントトレーニングにつきましては現在実施しておりません。今後はご家族の方々に対して情報提供等ができる場を検討して参ります。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15						引き続き、面談の機会だけでなく、送迎時や連絡帳、お電話にてお伝えさせていただいたりして参ります。	

保 護 者 へ の 説 明 等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15				・助言を適宜いただいております。	面談時以外にも助言等、必要に応じて対応しております。相談等がありましたらいつでも職員へお声掛けください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15				・支援については感謝しかありません。	子どもさんやご家族の気持ちに寄り添い、支援を行って参ります。
	18	保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	3	4	4		ニーズの変化に伴い、父母の会や保護者会は設けておりません。保護者の方に活動を参観いただける機会は設けて参ります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	1				今後も相談や申し入れ等があった際には迅速かつ適切な対応に努め、子どもさんやご家族の方々に対して周知・説明を行ってまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1			・とても親切であり、気配りや心配りを実感しています。	実態に応じて写真や絵カード、ひらがなタブレット等を活用しながら伝える手段の獲得に繋がるよう支援を行っております。日々の連絡帳や送迎時、電話連絡、面談時等を通して保護者の方とやり取りを実施させて頂いております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11	2		2		れんらくアプリを活用し、お便りや行事予定、活動の様子等を送信させて頂いております。また、ホームページでも行事や活動の様子についても更新してまいります。
非 常 時 等 の 対 応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15				・個人情報保護に取り組んでいると思います。	契約時にプライバシーや情報提供同意書の説明を行い、同意に基づき情報提供や写真、名前の掲示を行っております。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	3				各種マニュアルを整備し集約した危機管理マニュアルは契約時に説明し、活動室入口に設置することでいつでもご確認いただけます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	1		1		非常災害時に備え、非常食等の備蓄を行っております。また、避難訓練は毎月実施して非常時の動きを確認しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1				火災、地震、水害等を想定した避難訓練等を実施しております。また、年に1回不審者対応訓練も実施しております。
満 足 度	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14			1		事故や怪我等が発生した際には、直接またはお電話にて状況説明をさせて頂いております。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14			1	・バス送迎もしていただいております、とても安心です。	ありがとうございます。今後も安心して過ごしていただける環境を提供してまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14			1	・通所を楽しみにしており、これまで通所を嫌がることも一度もありません。	ありがとうございます。子どもさんが今後も楽しく通所できるような活動を計画してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	1			・とても丁寧に支援していただいております、保護者として感謝しかありません。	嬉しいお言葉、ありがとうございます。保護者の方からいただきましたご意見を参考にしながら満足していただける支援の提供に向け、職員一丸となってサービスの質の向上に努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		サニーキッズ（放課後等デイサービス）			公表日		令和8年 2月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		国の基準に則り、利用人数に対して十分なスペースを確保しております。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		配置基準に基づき、職員を配置しております。また、活動内容に合わせて職員配置の調整も行っております。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		個々の実態に応じて絵カードや写真カード、ホワイトボード等を活用し、視覚提示を行っております。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		普段から清掃を行い、月に一度美化点検を行うことで、安全と清潔を保っております。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別活動室が設けられており、個々の実態や本人の希望等に合わせて対応を行っております。また、必要に応じてパーテーションも活用しております。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎月、ケース会議や課題検討会を実施し、検討内容は全体で共有し、業務改善に取り組んでおります。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年保護者アンケートを実施しております。その他、面談や送迎時に保護者等の意向等を把握し、内容により改善に繋げる努力を行っております。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ケース会議、課題検討会議等で意見を把握し、改善に取り組むようにしております。また、職員アンケートや面談を実施しております。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		定期的に第三者評価を受審し、結果を踏まえ業務改善に繋げております。	直近では、令和7年12月22日に第三者評価を受審致しました。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		年間計画を掲示し、毎月研修を行って職員の資質向上を図っております。また年に複数回法人での研修も行っております。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		事務所の実態を踏まえ、作成とホームページへの公表を行っております。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		モニタリング面談を行い、本人や保護者のニーズを把握し計画を作成しております。また関係機関で連携を図り、専門職の意見も取り入れながら計画を作成しております。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画検討会議やケース会議を実施し、支援を行う職員全体で共通理解を図り、統一した支援に繋げております。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画に沿った支援を行うよう、打ち合わせや振り返りで情報共有を行っております。また、計画検討会議やケース会議等を通して職員全体で計画の共通理解を図っております。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		法人で統一されたアセスメントを使用や、必要に応じて発達検査等を行っております。また、ケース記録等のアセスメントも使用しながら適応行動の状況を確認しております。	個々の実態に適した発達検査等を取り入れながら、より正確な実態把握に努めていきます。		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		放課後等デイサービス計画を作成するにあたり、放課後等デイサービスガイドラインで示されている項目を確認しながら支援内容を検討し、個々の実態を踏まえた計画を作成しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		毎月、担当職員を中心に活動プログラムの作成を行っております。日々の振り返りやケース会議等の中で活動内容について検討する機会を設け、見直しを行っております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動の振り返りやケース会議等を通して子どもさんの実態や保護者のニーズを考慮し、活動プログラムを作成しております。また、子どもさんの意見を聞きとり、プログラムに取り入れるように工夫しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		子どもさんの実態に合わせて個別や集団での活動を組み合わせた計画を作成し、支援を行っております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝打ち合わせを行っています。打ち合せの際はホワイトボードや写真カードを活用し、チームで連携して支援を行うようにしております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後に振り返りを行い、活動内容や支援内容、ご家族からの相談等を職員全体で共有しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		放課後等デイサービス計画に基づき、支援が適切に提供されたか確認しながら記録をとっています。また、記録をもとに支援内容や活動内容等の検証・改善に努めております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に1度、または必要に応じて面談を行い、ご家族と一緒にモニタリングを行っております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		「自立支援と日常生活の充実のための活動」「多様な遊びや体験活動」「地域交流の活動」「子どもが主体的に参画できる活動」を活動に応じて組み合わせ、固定化しないよう工夫しております。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		利用者が意思表示しやすく自己決定できるよう、利用者の実態に応じた写真カードや絵カード、五十音表等を活動室内に設置する等の工夫を行っております。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者や担当職員がサービス担当者会議に参加し、情報共有を行っております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		学校の送迎時や訪問、各関係機関への見学等にて連携が図れる体制作りを行っております。また、事業所への見学等も受け入れ、情報共有に努めております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		予定表の確認や、ご家族からの情報をもとに対応をしています。必要に応じて電話連絡や訪問を行い情報共有を行っております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		移行支援シートや保護者の方からいただいた情報等を通して情報共有に努めております。状況に応じて就学後も連携が取れる関係作りを行っております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		本人・保護者の同意を得た上でつなぎシート作成し、関係機関への情報提供を行っております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		地域連絡会や地域の児童発達支援センターが実施する研修会へ参加し、情報交換会等を通して助言をいただいております。	

運携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	奏マーケットやウィズフェスタ等法人内のイベントを通して地域の人と関わりを持てる環境を作っております。	今後、実施可能な方法について更なる検討を行って参ります。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○		法人代表が参加し全体への情報共有を行っています。また、自立支援協議会が主催する研修会へ出席しております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々の送迎や連絡帳を通して子どもさんの様子について情報共有を行っております。また、必要に応じて電話対応や面談を行っております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	現在、ペアレント・トレーニング等は実施できておりませんが、必要に応じて面談時や連絡帳、送迎時に個別で助言等をさせていただいております。	ニーズに応じた保護者研修を実施できるよう、職員のスキルアップに努めて参ります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用契約時に運営規定、支援プログラム、利用者負担等について説明を行っております。変更があった際には、文書にて交付しております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリング面談を通してご家族や本人のニーズを聞き取り、放課後等デイサービス計画を作成しております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		送迎時や電話連絡にて放課後等デイサービス計画を確認しながら説明を行い、同意を得た上で署名をいただいております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談等を受けた際には迅速に対応を行い、面談や電話対応にて助言や支援を行っております。	
	40	保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	現在、保護者同士での交流会等は実施できておりません。	今後、保護者同士での交流できる場の提供方法について検討して参ります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情・苦情受付窓口、第三者委員について、契約時の説明と併せて廊下への掲示も行っています。苦情対応等についてはマニュアルに基づき、迅速かつ丁寧に対応し、職員間で共有するように努めております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		法人の広報誌やホームページ、毎月配信している月案にて活動の様子を配信しております。また、れんらくアプリで行事予定の情報を発信しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きのキャビネット内に個人情報に関する書類を保管しております。また、個人情報管理に対するマニュアルの整備や、年に1度個人情報の取扱いに関する研修を行っております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		個々の実態や特性を踏まえてホワイトボードやイラストカードを活用し、意思の疎通を図っております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域の方々へ会議室等の開放を行っております。	リーフレットやホームページ等を活用し、地域への発信を検討してまいります。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルの整備を行い、廊下にて掲示しております。また、契約時にご家族へ説明を行っています。月に1度避難訓練を実施し、緊急時の対応について確認しております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定しております。避難訓練の実施や職員研修にて発生した際の実践訓練を行い、共通理解も図っております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時、面談時に保護者の方へ聞き取りを行い、アセスメント表に記録し職員間で共有を行っております。	

非常時等の対応	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		現在、食物アレルギーのある方はいらっしゃいません。利用契約時に保護者へ確認を行い、医師の指示書に基づく対応を可能な範囲で行っております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、研修や訓練を実施しております。また月1回の防災・美化点検を実施し、安全管理を行っております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		利用契約時や面談時に保護者の方へ緊急連絡先の確認や取組内容について説明をしております。また、ご家族が見やすい位置に掲示をしております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		状況の分析、対応策の検討をしヒヤリハット報告書を作成しております。作成後は朝礼や職員会議にて全職員で共有しております。また、法人として委員会を設置し状況の共有をしております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人内に人権擁護委員会を設置し、虐待防止委員会（身体拘束適正化検討委員会）を実施しております。また、外部講師による権利擁護の研修等で虐待防止について学ぶ機会を設け、対応について共通理解を図っております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		利用契約時に説明を行っております。現在、身体拘束を行う事例はありませんが、やむを得ず身体拘束を行う際には委員会等の組織での検討を行い、十分に説明、了承を得た上で放課後等デイサービス計画に記載致します。	